

平成 15 (2003) 年度

埋蔵文化財緊急発掘調査概報

高浜遺跡
円塚古墳
五反島遺跡
豊嶋郡条里遺跡
垂水中遺跡 B 地点

平成 16 (2004) 年 3 月

吹田市教育委員会

序

吹田市におきましては、昭和49(1974)年度国庫補助事業の埋蔵文化財発掘調査以来、これまで多くの発掘調査を実施してきました。

平成15(2003)年度におきましては、国庫補助事業として4件(2月上旬時点)の発掘調査を実施しました。これらは、個人住宅の建築工事を契機としたもので、調査に際しましては、事業者をはじめとする多くの方々のご協力を得ました。

本市教育委員会におきましては、これからも文化財の保護に対してより良い施策をめざして取り組んでいく所存ですが、これもやはり市民の方々のご理解を頂いてこそ成し得るものであります。市民のみなさまにおかれましては、埋蔵文化財発掘調査をはじめとする本市の文化財保護行政に対し、今後とも深いご理解とご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

平成16(2004)年3月

吹田市教育委員会

教育長 椿原正道

例　　言

1. 本書は平成15(2003)年度国庫補助事業として実施した、円塚古墳、五反島遺跡、豊嶋郡条里遺跡、垂水中遺跡B地点の緊急発掘調査をまとめたものである。また、平成14(2002)年度に国庫補助事業として実施した、高浜遺跡の発掘調査についても併せて報告する。

2. 発掘調査地点は次のとおりである。

(平成14年度)

高 浜 遺 跡 吹田市南高浜町954、955-1

(平成15年度)

円 塚 古 墳 吹田市片山町4-2951-2

五 反 島 遺 跡 吹田市南吹田5-20-6の一部

豊 嶋 郡 条 里 遺 跡 吹田市泉町2-3079-1他

垂 水 中 遺 跡 B 地 点 吹田市垂水町1-862-4

3. 発掘調査の整理作業は、吹田市立博物館(吹田市岸部北4丁目10番1号)で実施し、資料の保管も同所において行っている。

4. 本文の執筆は、第1・3章を賀納章雄、第2・4・5・6章を西本安秀が行った。

5. 図中の方位は磁北を示し、標高はT.P(東京湾標準潮位)を示す。

6. 発掘調査においては、福西宣夫氏、大野寛雄氏、松井新三氏、金馬正秀氏、金馬高広氏、金馬浩氏、森谷健司氏、森山慎二氏をはじめとする多くの方々の協力を得ました。記して感謝致します。

発掘調査参加者名簿

調査主体　吹田市教育委員会

調査指導　大阪府教育委員会文化財保護課

調査担当　吹田市教育委員会吹田市立博物館文化財保護係　西本安秀・賀納章雄

調査補助員　秋山芳恵・小川里美・高井明美・林裕子

目 次

第1章	平成15(2003)年度発掘調査の契機	1
第2章	高浜遺跡の発掘調査	2
第3章	円塚古墳の発掘調査	5
第4章	五反島遺跡の発掘調査	6
第5章	豊嶋郡冬里遺跡の発掘調査	7
第6章	垂水中遺跡B地点の発掘調査	8

挿 図 目 次

第1図	発掘調査地点位置図	1
第2図	高浜遺跡発掘調査地周辺図	2
第3図	調査区平面図	2
第4図	検出遺構平面図及び土層断面図	3
第5図	出土遺物実測図	4
第6図	円塚古墳発掘調査地周辺図	5
第7図	調査区平面図	5
第8図	土層断面図	5
第9図	五反島遺跡発掘調査地周辺図	6
第10図	調査区平面図	6
第11図	土層断面模式図	6
第12図	豊嶋郡冬里遺跡発掘調査地周辺図	7
第13図	調査区平面図	7
第14図	土層断面図	7
第15図	垂水中遺跡B地点発掘調査地周辺図	8
第16図	調査区平面図	8
第17図	土層断面図	8

図版目次

- 図版1 高浜遺跡1
- 図版2 高浜遺跡2
- 図版3 高浜遺跡3
- 図版4 高浜遺跡4
- 図版5 高浜遺跡5
- 図版6 高浜遺跡6
- 図版7 高浜遺跡7
- 図版8 高浜遺跡8
- 図版9 高浜遺跡9
- 図版10 高浜遺跡10
- 図版11 高浜遺跡11
- 図版12 円塚古墳
- 図版13 五反島遺跡1
- 図版14 五反島遺跡2
- 図版15 豊嶋郡条里遺跡
- 図版16 垂水中遺跡B地点1
- 図版17 垂水中遺跡B地点2

第1章 平成15(2003)年度発掘調査の契機

平成15(2003)年度は、円塚古墳、五反島遺跡、豊嶋郡条里遺跡、垂水中遺跡B地点の4遺跡(2月上旬時点)において、個人住宅の建築工事に伴い発掘調査を実施した。

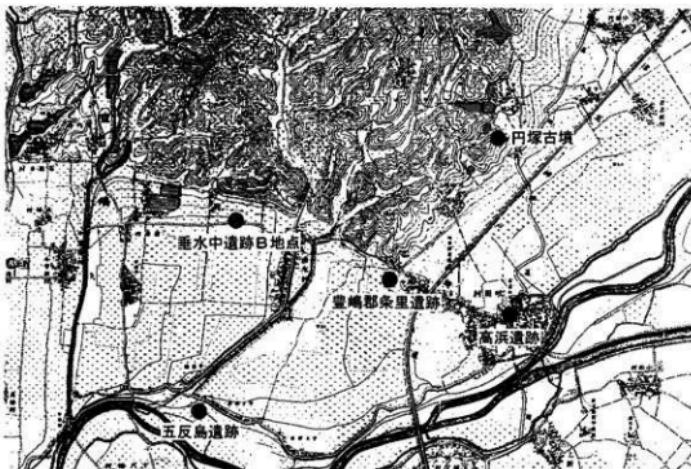
円塚古墳は、千里丘陵上標高20mほどの地点にある。18世紀末刊行の『摂津名所図会』に「片山村の田圃の中にあり由緒不詳 塚の形を以て名とす荒塚なり」とあるが、その実態は不明である。今回の調査は、円塚古墳包蔵地内にあたる片山町4-2951-2において実施した。

五反島遺跡は、南吹田5丁目にある南吹田下水処理場を中心広がる遺跡である。昭和61(1986)年度に実施した発掘調査において、古墳時代から中世にかけての河道跡等を検出している。今回の調査は、遺跡の北側隣接地に当たる南吹田5-20-6の一部において個人住宅の建築が計画されたことにより、遺跡包蔵地の範囲確認を目的に実施した。

豊嶋郡条里遺跡は、泉町1・2丁目に所在する遺跡である。昭和57(1982)年度に吹田市文化会館建設に伴い実施した発掘調査においては、豊嶋郡条里の東限に当たる中世の水路跡が検出されている。今回の調査は、遺跡西端に当たる泉町2-3079-1他において実施したものである。

垂水中遺跡B地点は、垂水町1丁目にある古墳時代・中世の遺跡で、平成4(1992)年度に実施した試掘調査により発見された。今回の発掘調査は、遺跡南側に当たる垂水町1-862-4において実施した。

なお、本概報においては、平成14(2002)年度に実施した発掘調査のうち、平成15(2003)年2月20~22日に実施した高浜遺跡(南高浜町954、955-1)の調査報告もあわせて掲載する。



第1図 発掘調査地点位置図 (1:40,000 明治18(1885)年測量地図)

第2章 高浜遺跡の発掘調査

1. 調査の経過

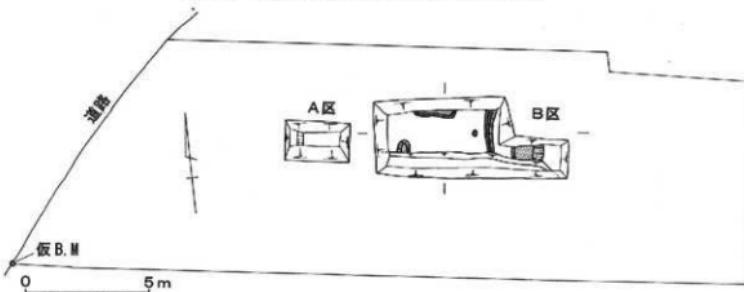
今回の調査は吹田市南高浜町954, 955-1において住宅の建築に伴う事前調査として、平成15(2003)年2月20日に確認調査を実施したところ、埋蔵文化財を確認したので引き続き調査区の拡大を行い、2月22日まで調査を実施した。

2. 調査の成果

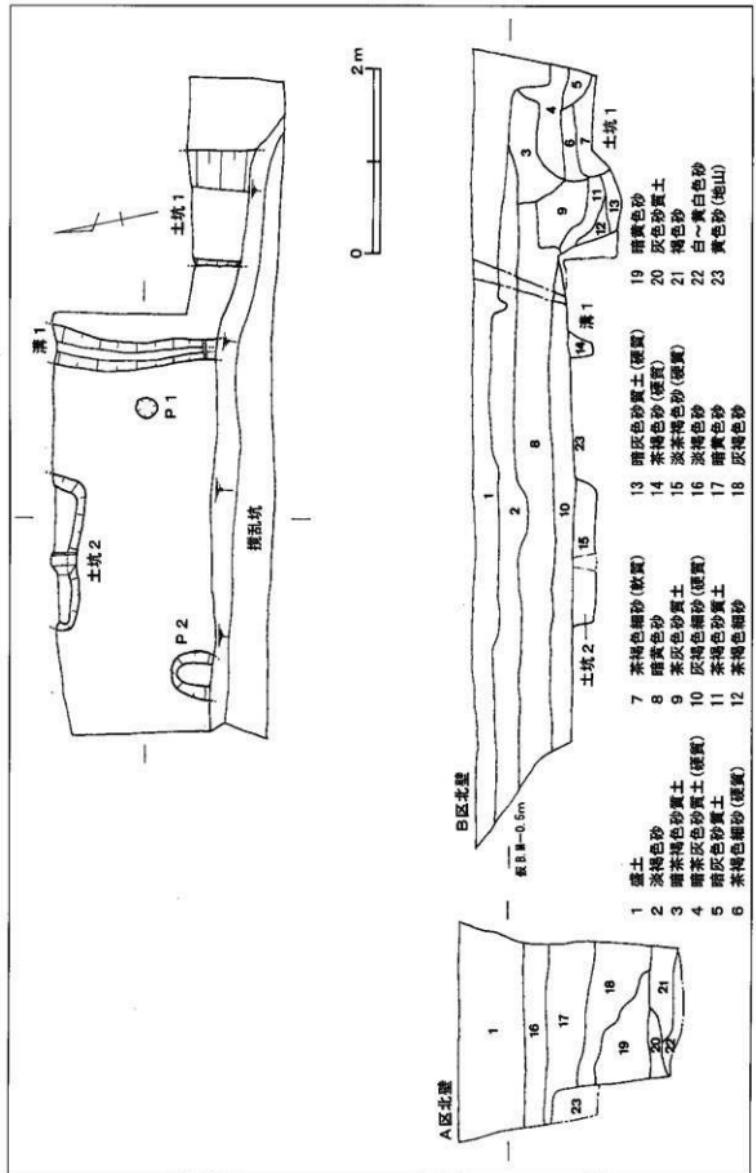
調査区2ヶ所(A・B区)を設定(調査面積合計約25m²)し、機械及び人力により掘削を行つ



第2図 高浜遺跡発掘調査地周辺図 (1:5,000)



第3図 調査区平面図



第4圖 檢出連續平面圖及A土層斷面圖

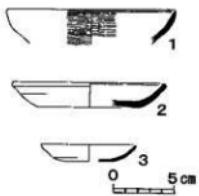
た。A区は既に大きく搅乱を受けており、明確な遺構は検出されなかつた。B区の土層序はI層 盛土(層厚約0.2m)、II層 淡褐色砂・暗黄色砂(層厚約0.6m)、III層 灰褐色細砂(層厚約0.2m、遺物包含層)、IV層 黄色砂(地山)で、南端部が大きく搅乱を受けていたが、地表下約1mの黄色砂層面で土坑2基、溝1条、ピット2基等の遺構が検出された。

土坑1はB区の東端で検出され、東西幅約1.3m、深さ約0.6mを測り、南北方向に伸びるものである。遺構内の堆積層は茶褐色系の砂質土・砂層で構成され、西側の堆積層は古く、東側は新しく掘り直された状況がみられる。堆積層から中世の土師器、瓦器等が出土した。土坑2はB区の北端に一部が検出され、東西幅約1.8m、深さ約0.2mを測る。堆積層は淡茶褐色砂で、遺物は出土しなかつた。溝1はB区の中央やや東寄りに、南北方向にわずかに曲がりながら走行する。幅0.2~0.4m、深さ約0.2mを測る。堆積層は茶褐色砂で少量の遺物(瓦器)が出土した。ピット1(P1)は溝1の西側で確認された平面円形の形状を呈し、径約0.2m、深さ0.2mを測る。堆積層は茶褐色砂質土で遺物は出土しなかつた。ピット2(P2)はB区の西端で検出され、径約0.5m、深さ0.5mを測る。堆積層は茶褐色砂質土で中世の瓦器、土師器が出土した。

出土遺物は遺物収納箱1箱分出土し、中世の時期に該当するものとしては土師器、須恵器、瓦器があり、近世～近代では陶器、磁器、瓦が認められた。中世の時期のものを主体としているが、全て細片で完形に復元できるものではなく、図化できるものは数点にすぎなかつた。そのうちの3点について以下のとおり記述する。

(1)はB区溝1出土の瓦器碗の口縁部で、復元口径14.0cm、遺存高2.9cmを測り、やや内湾気味に外上方に伸び、口縁端部はやや丸い。口縁内面直下に弱い凹線をめぐらす。外面は横方向の密なヘラミガキを、内面も密なヘラミガキを施す。(2)はB区P2出土の土師器皿の口縁～底部にかけての部分で、復元口径12.3cm、底径8.4cm、器高2.1cmを測る。口縁部は外上方に伸び、口縁端部は外傾する端面を持つ。内底面はやや上げ底で内底面から口縁外面にかけてヨコナデを施し、体部外面下半から底部にかけて押圧調整を行つてある。(3)はB区P2出土の土師器皿の口縁～底部にかけての部分で、復元口径7.8cm、底径4.0cm、器高1.4cmを測る。口縁部は外上方に伸び、口縁端部はやや鋭い。内底面から口縁外面にかけてヨコナデを施し、体部外面下半から底部にかけて押圧調整を行う。

以上のとおり、検出された遺構は出土遺物より中世のものと考えられ、付近一帯に展開すると想定される中世の集落跡の一部と考えられる。



第5図 出土遺物実測図

第3章 円塚古墳の発掘調査

1. 調査の経過

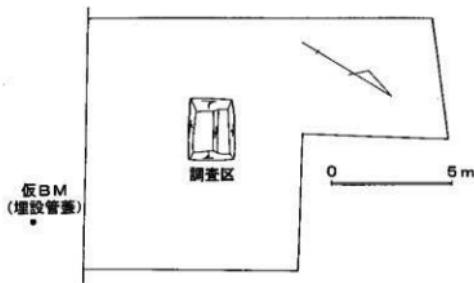
今回の発掘調査は、住宅の建築工事に伴い実施したものであり、平成15(2003)年10月31日に、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、調査トレーンチを1か所(約5m²)設定して行った。

2. 調査の成果

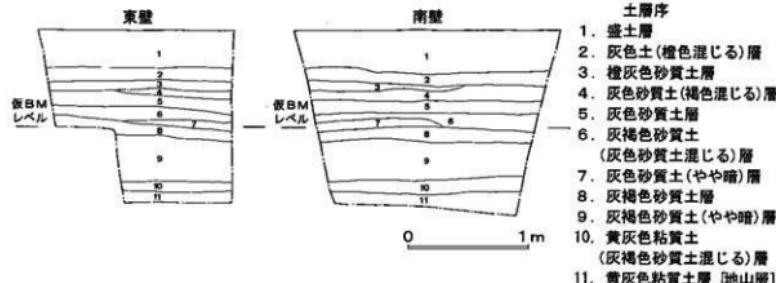
調査トレーンチを掘削したところ、現代盛土層(第1層)と地山層である黄灰色粘質土層(第11層)の約1mの間に、灰色または灰褐色系の砂質土層(第2～9層)と、黄灰色粘質土(灰褐色砂質土混じる)層(第10層)の堆積が認められた。このうち、第2～9層内にて、中世の所産である土師器と瓦器の細片が少量検出された。しかし、これらは磨滅が激しく、他所からの流れ込みによって二次的に堆積したものと考えられ、今回の調査では、一次的な堆積による明確な遺構・遺物については確認できなかった。



第6図 円塚古墳発掘調査地周辺図
(1:5,000)



第7図 調査区平面図



第8図 土層断面図

第4章 五反島遺跡の発掘調査

1. 調査の経過

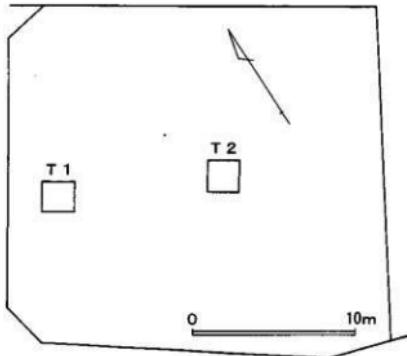
今回の発掘調査は、住宅の建築工事に伴い実施したものであり、平成15(2003)年12月11日に、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、調査トレンチを2か所(約8m²)設定して行った。

2. 調査の成果

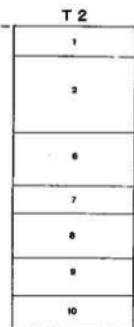
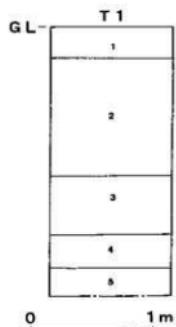
各調査トレンチを掘削したところ、表土層(第1層)以下、主に赤褐色および黄灰色、灰茶色系の土層(第2~10層)の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については確認できなかった。



第9図 五反島遺跡発掘調査地周辺図
(1 : 5,000)



第10図 調査区平面図



- 土層序
1. 盛土層
 2. 淡赤褐色粘質土層
 3. 淡黄灰色粘質土層
 4. 淡黄灰色粘土層
 5. 赤褐色細砂層
 6. 灰茶色粘質土層
 7. 黄灰色細砂層
 8. 茶灰色粘質土層
 9. 淡赤褐色砂質土層
 10. 黄灰色砂層

第11図 土層断面模式図

第5章 豊嶋郡条里遺跡の発掘調査

1. 調査の経過

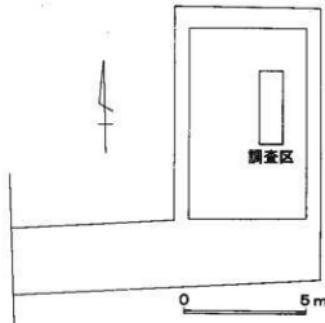
今回の発掘調査は、住宅の建築工事に伴い実施したものであり、平成16(2004)年2月2日に、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、調査トレンチを1か所(約3m²)設定して行った。

2. 調査の成果

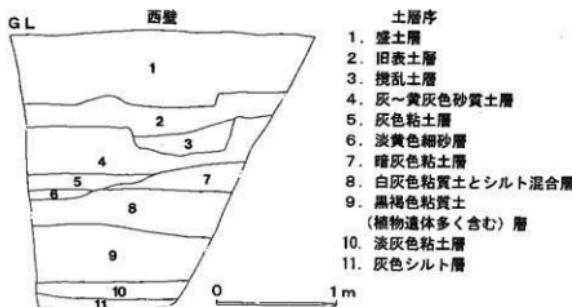
調査トレンチを掘削したところ、現代盛土層・旧表土層(第1・2層)以下、灰～黄灰色砂質土層(第4層)、灰色粘土層(第5層)、淡黄色細砂層(第6層)、暗灰色粘土層(第7層)、白灰色粘質土とシルト混合層(第8層)、黒褐色粘質土(植物遺体多く含む)層(第9層)、淡灰色粘土層(第10層)、灰色シルト層(第11層)の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については確認できなかった。



第12図 豊嶋郡条里遺跡発掘調査地周辺図
(1:5,000)



第13図 調査区平面図



第14図 土層断面図

第6章 垂水中遺跡B地点の発掘調査

1. 調査の経過

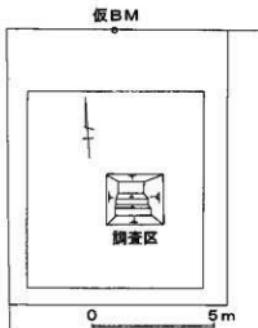
今回の発掘調査は、住宅の建築工事に伴い実施したものであり、平成16(2004)年2月4日に、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、調査トレンチを1か所(約4.8m²)設定して行った。

2. 調査の成果

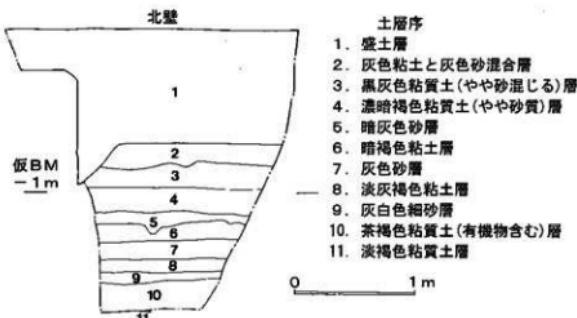
調査トレンチを掘削したところ、現代盛土層・旧表土層(第1・2層)以下、黒灰色粘質土(やや砂混じる)層(第3層)、濃暗褐色粘質土(やや砂質)層(第4層)、暗灰色砂層(第5層)、暗褐色粘土層(第6層)、灰色砂層(第7層)、淡灰褐色粘土層(第8層)、灰白色細砂層(第9層)、茶褐色粘質土(有機物含む)層(第10層)、淡褐色粘質土層(第11層)の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については確認できなかった。



第15図 垂水中遺跡B地点発掘調査地周辺図
(1 : 5,000)



第16図 調査区平面図



第17図 土層断面図

図版1 高浜遺跡1



調査地近景（西から）



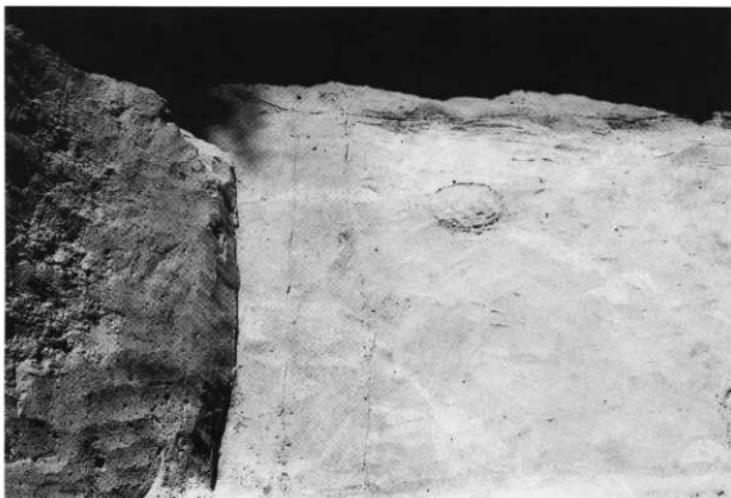
B区 調査風景（東から）

図版2

高浜遺跡2



遺構上面検出状況（西から）



遺構上面検出状況（北から）

図版3
高浜遺跡3



土坑上面検出状況（北から）



ピット上面検出状況（北から）

図版4
高浜遺跡4



調査風景（遺構掘削状況）



遺構検出状況（西から）

図版 5 高浜遺跡 5

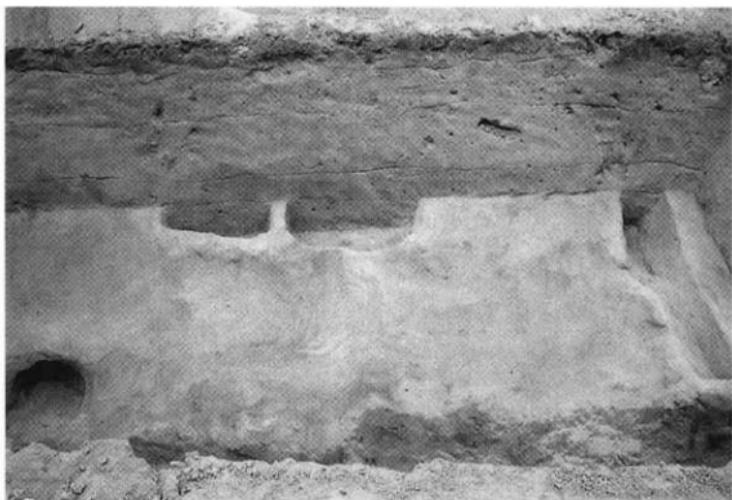
検出遺構（東から）



検出遺構（西から）



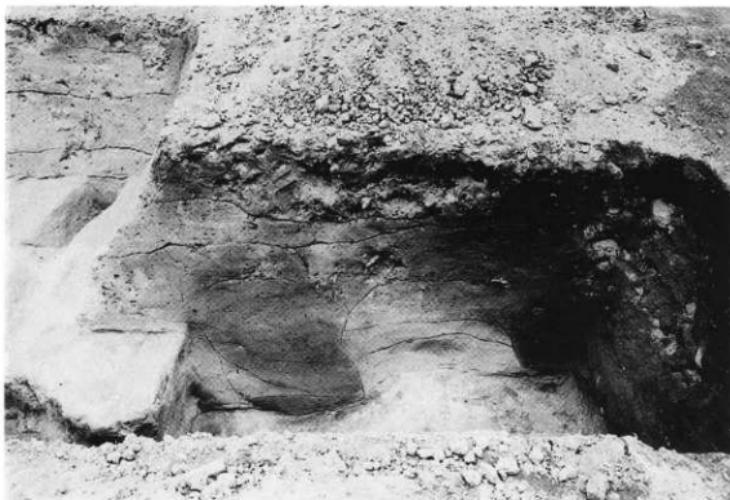
図版6 高浜遺跡6



検出遺構（南から）



土坑1（東から）



土坑 1 土層断面（南から）



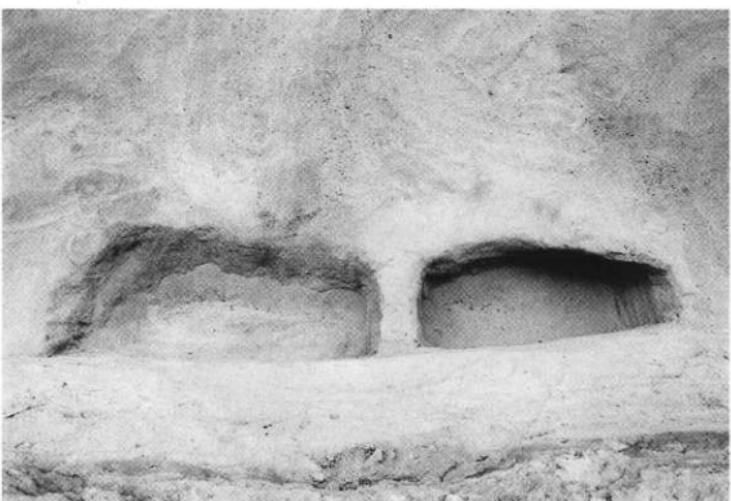
土坑 1 土層断面細部（南から）

図版8

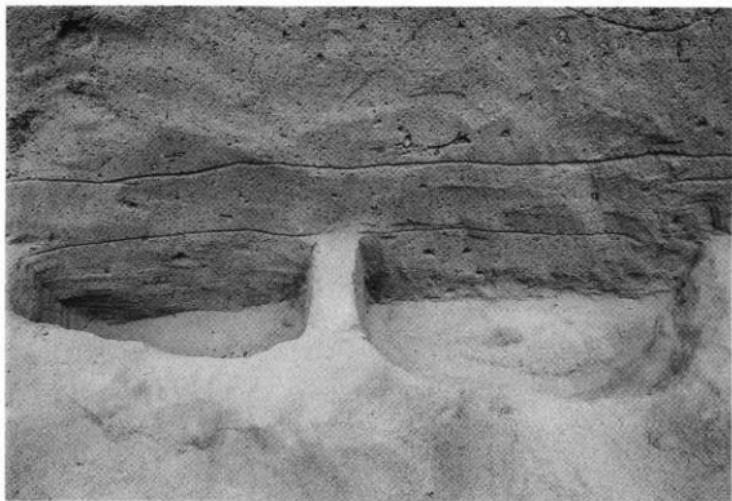
高浜遺跡8



土坑2（南から）



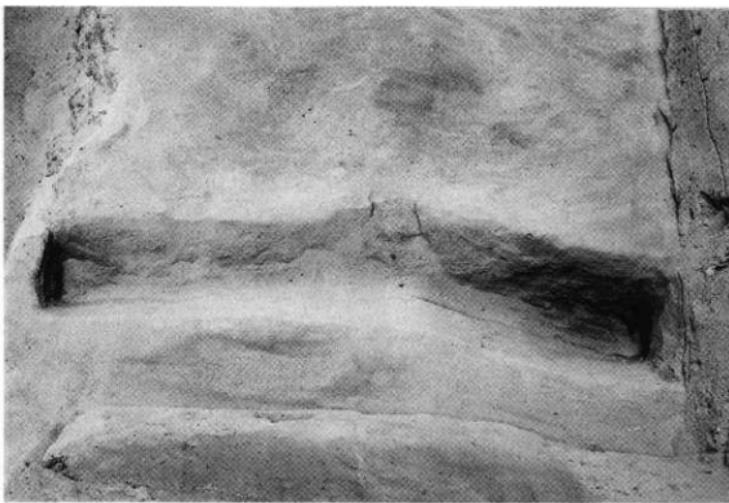
土坑2（北から）



土坑2細部（南から）



溝1（南から）



溝1（東から）



溝1細部（南から）



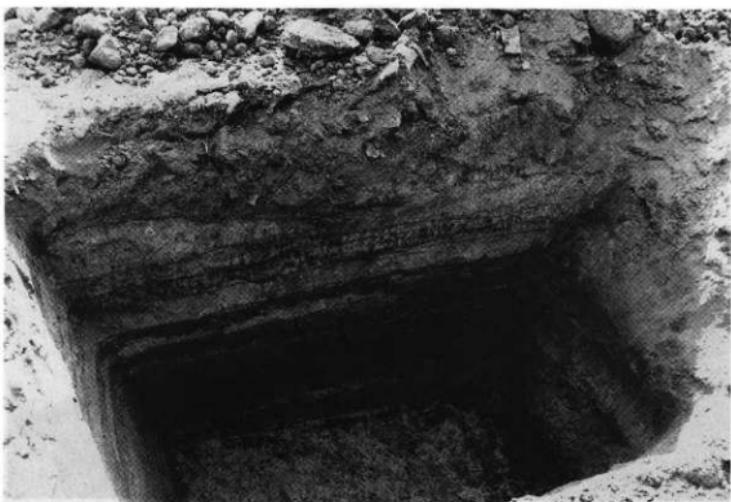
ピット 2 (北から)



南壁土層断面



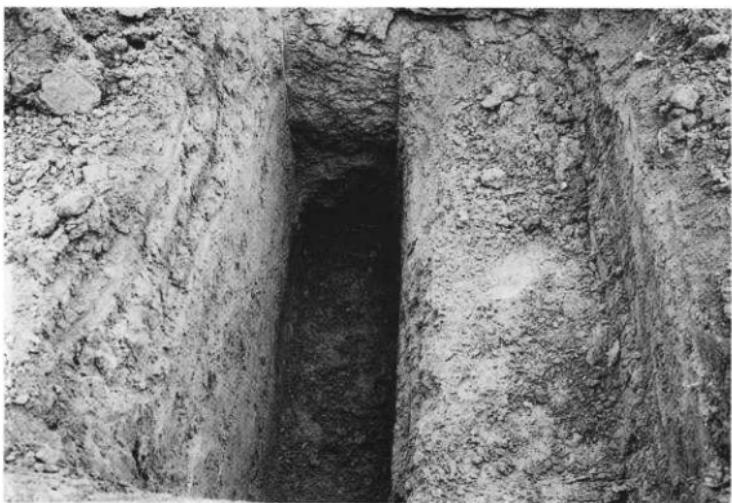
調査区近景（北東から）



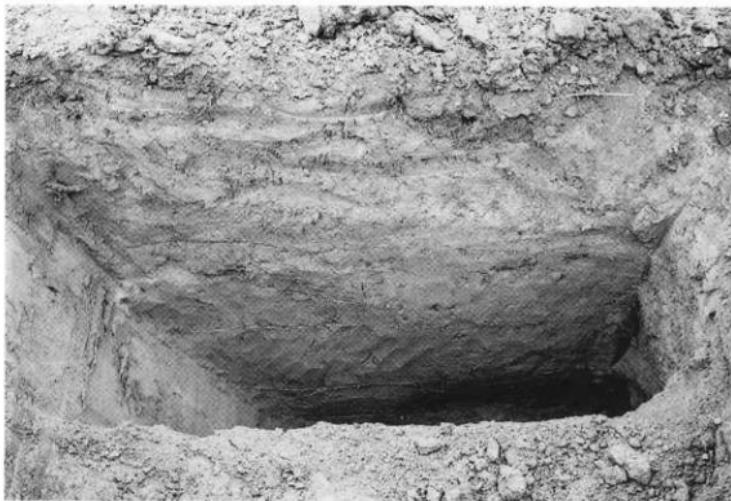
調査区南壁（北から）



調査地近景（西から）



T 1 挖削状況（西から）



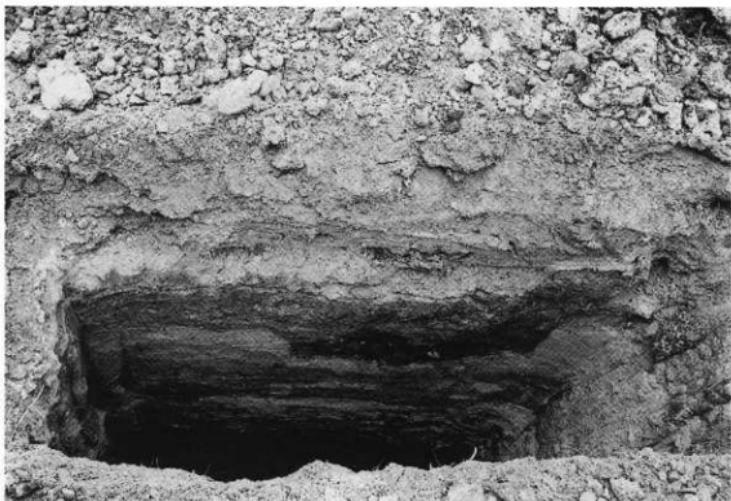
T 1 土層断面（南から）



T 2 挖削状況（南から）



調査前風景（南から）



調査区掘削状況（東から）

図版
16

垂水中遺跡B地点1



調査前（西から）

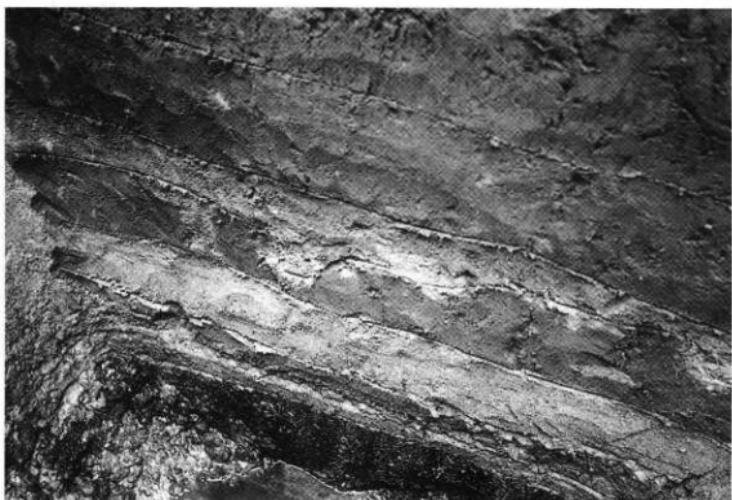


調査区掘削状況（南から）

図版 17 垂水中遺跡B地点2



土層断面（南から）



土層断面細部（南から）

報告書抄録

ふりがな	へいせい15(2003)ねんどまいぞうぶんかざいきんきゅうはつくつちょうさがいほう
書名	平成15(2003)年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報
副書名	高浜遺跡 円塚古墳 五反鳥遺跡 豊嶋郡条里遺跡 垂水中遺跡B地点
卷次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編集者名	西本安秀 賀納章雄
編集機関	吹田市教育委員会
所在地	〒564-0041 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号 TEL(06)6384-1231
発行年月日	西暦 2004年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
高浜遺跡	吹田市南高浜町954、955-1	27205	100	34°45'29"	135°31'41"	20030220~ 20030222	25	建物の建築
円塚古墳	吹田市片山町4-2951-2	27205	72	34°46'11"	135°31'34"	20031031	5	建物の建築
五反鳥遺跡	吹田市南吹田5-20-6の一部	27205	90	34°45'05"	135°30'03"	20031211	8	建物の建築
豊嶋郡条里遺跡	吹田市泉町2-3079-1他	27205	95	34°45'34"	135°30'51"	20040202	3	建物の建築
垂水中遺跡B地点	吹田市垂水町1-862-4	27205	107	34°45'53"	135°30'10"	20040204	4.8	建物の建築

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
高浜遺跡	集落遺跡	中世	土坑、溝、ピット	土師器、須恵器、瓦器	なし
円塚古墳	古墳	古墳	なし	土師器、瓦器	なし
五反鳥遺跡	集落遺跡	弥生～中世	なし	なし	なし
豊嶋郡条里遺跡	集落遺跡	中世	なし	なし	なし
垂水中遺跡B地点	集落遺跡	古墳・中世	なし	なし	なし

平成15(2003)年度
埋蔵文化財緊急発掘調査概報

高浜遺跡
円塚古墳
五反島遺跡
豊嶋郡条里遺跡
垂水中遺跡B地点

平成16(2004)年3月31日
編集 吹田市泉町1丁目3番40号
発行 吹田市教育委員会